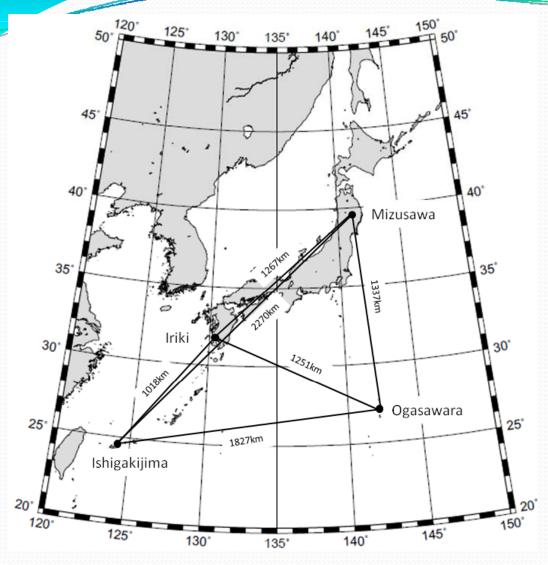
VERAネットワークの形状変化の現状 Status of VERA Geodetic Results

寺家孝明 水沢VLBI観測所 09 VERAユーザーズミーティング 三鷹

目的:VERAネットワークの位置と形状の監視



目的:VERAのアストロメトリ精度を保証するために、数mmの精度でVERAネットワークの形状を監視する。

方法:VLBI、GPS、重力計

JADE(VLBI):

VERA網の国際座標系への接続 (2003年5月~)

VERA内部観測(VLBI):

アンテナ基準点間の相対位置とその変 化の監視(2004年11月~)

GPS連続観測:

コロケーション観測。VLBIから得られた 網変形を監査する。地震によるステップ やクリープの検出。(2001年~)

重力計:

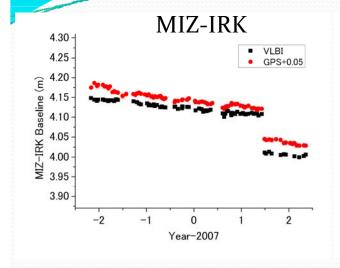
上下方向の位置変化の検定(試験中)

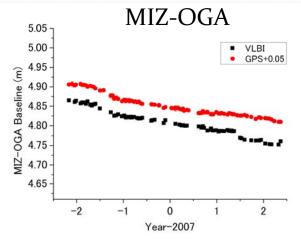
VLBIとGPSの基線長比較

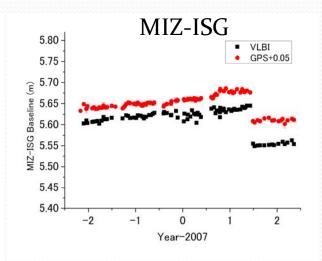
- ネットワークの変形をVLBIとGPS其々から得られた基線長の時間変化
- 基線長の変化は、ネットワークの方向のふらつきによる局位置への影響が 見え難いので、異常なネットワークの変形を知るに都合がよい
- 局の異常な動き⇔その局が入った基線の変化に異常が出現

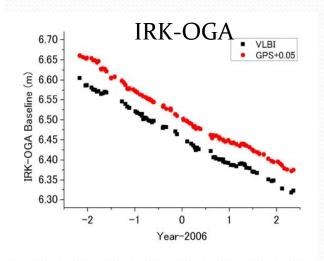
VLBIの観測当日の基線長解と、同日から±2日のGPSの平均基線長解を表記

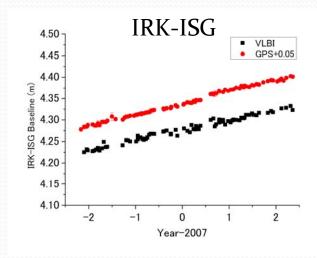
基線長時間変化

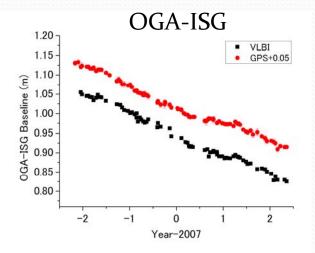












基線長変化率差(VLBI .vs. GPS .vs. REVEL2000)

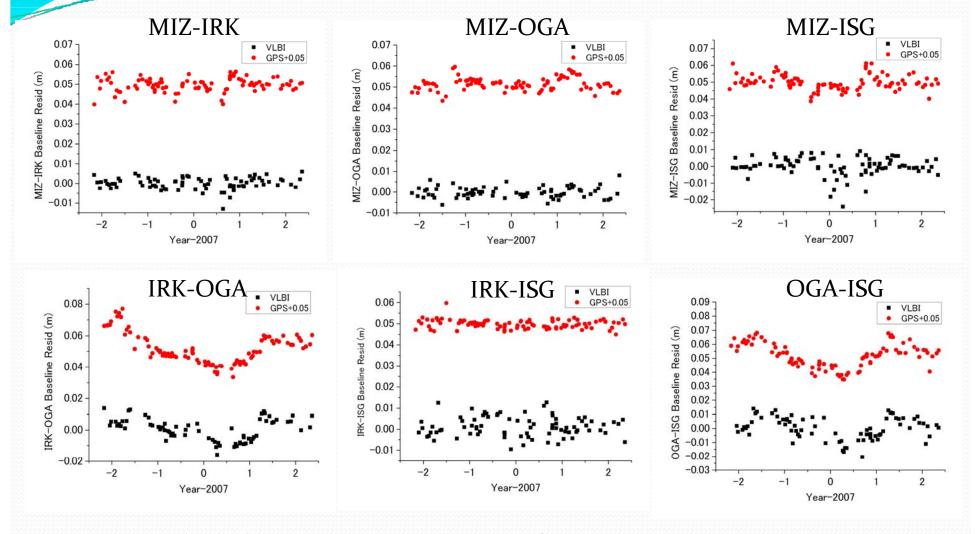
epoch: Aug/2005 – Jun/2007

Baseline Name	VLBI	S.D. of VLBI	GPS	S.D. of GPS	REVEL2000
	unit = mm/yr				
Mizusawa- Iriki	-11.1	0.3	-14.5(-3.4)	0.3	-17.7 (-6.6)
Mizusawa- Ogasawara	-17.8	0.2	-17.5 (0.3)	0.4	-23.5 (-5.7)
Mizusawa- Ishigakijima	11.9	0.3	14.9 (3.0)	0.3	-16.4 (-28.3)
Iriki- Ogasawara	-68.3	0.3	-71.6 (-3.3)	0.4	-66.7 (1.6)
Iriki- Ishigakijima	22.8	0.1	22.9 (0.1)	0.5	0.1 (-22.7)
Ogasawara- Ishigakijima	-65.9	0.1	-59.4 (6.5)	0.8	-61.2 (4.7)

REVEL2000 Sella, et al., 1998,

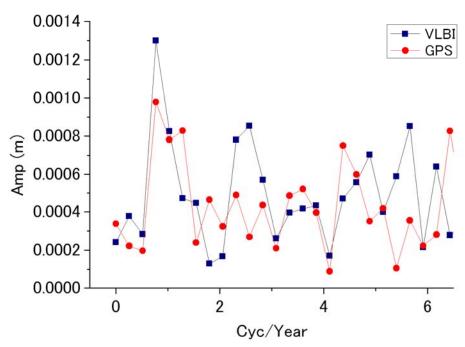
Site on Plate: Mizusawa (Okhotsk), Iriki (Amur), Ogasawara (Philippine Sea) and Ishigakijima (South China)

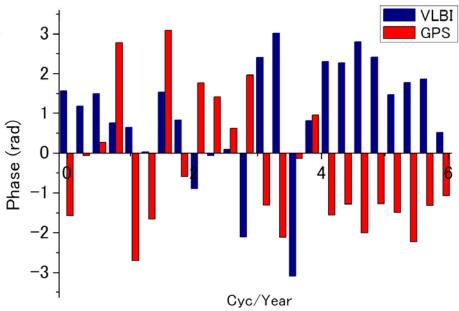
基線長変化:直線成分と地震による跳びを除く



1年間の観測(凡そ20回)から得られる基線変化率の誤差は凡そ2-3mm。 1年周成分や、数年で変化率が変化する成分があり、エポックで切る必要あり。

基線変化の周期成分(MIZ-IRK)

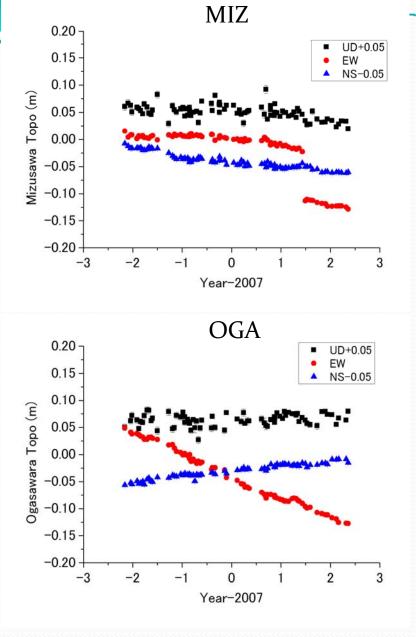


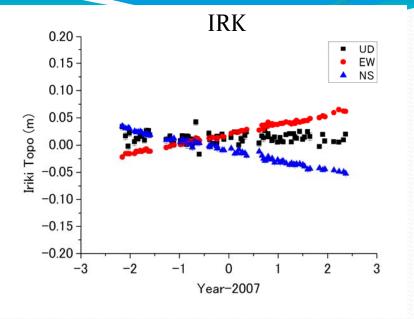


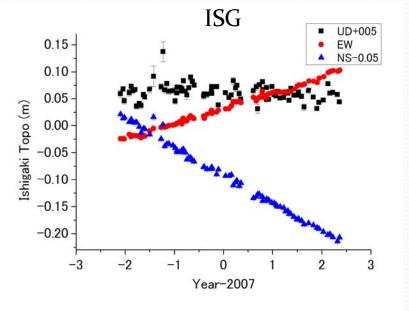
各局の座標の時間変化

- 水平座標(U-D, E-W, N-S)で表す
- 2007年1月1日の座標(ver.2007)を原点として、その原点に 対する相対的な位置変化
- VERA4局をfree parameterで解く。天体位置、EOPが固定。 ネットワークの平行移動が誤差として残る。相対的な位置関係 の変化を見ることは可能。
- 水平成分は標準誤差で凡そ1mm以下、垂直成分は標準誤差で凡そ3-6mm.。

VERA4局の水平座標での位置変化







地心座標系でのVERA局の位置 水沢

水沢局(X_off=-3857241.0, Y_off=3108784.0, Z_off=4003900.0)
VERA水沢局は2007.0年の位置をGSIのグローバル解(ver2009)に固定し、ネットワーク全体を平行移動させる。

Epoch	2005(04Nov-05Aug)		2007(05Aug-08Jun)		2009(08Jun-09May)	
		S.D.		S.D.		S.D.
X (m)	-0.81144	0.00122	-0.81704	0.00030	-0.73954	0.00050
vX (m/y)	0.01394	0.00518	0.00513	0.00314	0.00751	0.00206
Y (m)	0.80386	0.00117	0.81839	0.00029	0.91131	0.00047
vY (m/y)	0.00237	0.00493	0.00963	0.00033	0.01401	0.00193
Z (m)	0.58599	0.00121	0.56056	0.00029	0.53421	0.00047
vZ (m/y)	-0.01911	0.00509	-0.00766	0.00033	-0.01289	0.00194

地心座標系でのVERA局の位置入来、石垣島

入来

Epoch=2007.0		S.D.
X (m)	-3521719.62246	0.00025
vX (m/y)	-0.02011	0.00034
Y (m)	4132174.66830	0.00029
vY (m/y)	0.00963	0.00033
Z (m)	3336994.25077	0.00029
vZ (m/y)	-0.00766	0.00033

石垣島

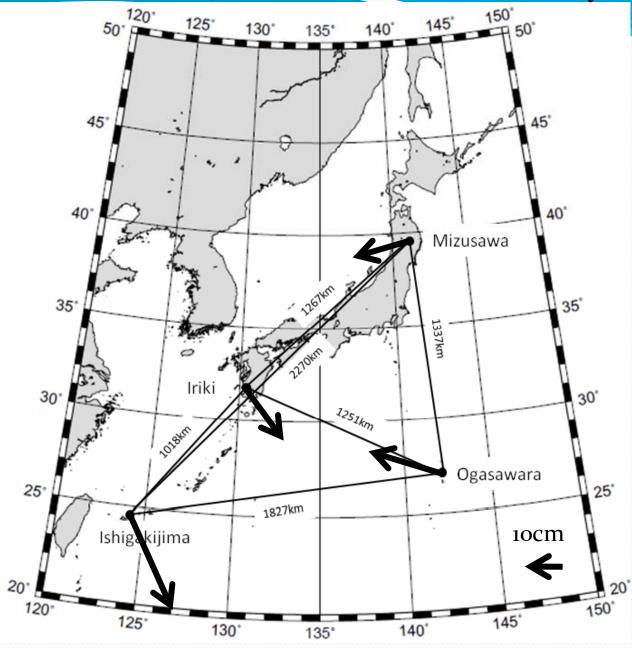
Epoch=2007.0		S.D.
X (m)	-3263994.78845	0.00024
vX (m/y)	-0.03358	0.00019
Y (m)	4808056.29133	0.00031
vY (m/y)	0.00120	0.00024
Z (m)	2619949.17436	0.00021
vZ (m/y)	-0.04857	0.00016

地心座標系でのVERA局の位置 小笠原

Epoch=2007.0		S.D.
X (m)	-4491068.78598	0.00036
vX (m/y)	0.02053	0.00027
Y (m)	3481544.84430	0.00030
vY (m/y)	0.03025	0.00024
Z (m)	2887399.64195	0.00025
vZ (m/y)	0.00936	0.00019

	vX	vY	vZ
~2006.15	0.02492	0.02487	0.01854
2006.15~2007.29	0.03018	0.03723	0.00832
2007.29~2008.26	0.00638	0.02898	0.01848
2008.26~	0.02826	0.03370	0.00883

VERA各局の水平位置変化の累積 (2004 Nov. – 2009 May.)



重力

- 水沢で2008年12月に江刺から水沢構内に超電導重力 計を移設
- データに見られたスパイク等のノイズは、重力計の制御系 電源装置を更新することで消えた。
- 雨水や地下水と重力変動の関連について調査(東大 ERIと共同で研究)

まとめと課題

まとめ

- 水沢局の地震によるステップの検出。水沢局の速度は地震によって変化? 断層運動の相互作用か?
- 入来局、石垣島局は少なくとも1cm以上の振幅を持つ直線から外れる位置 変化は見られない。
- 小笠原局の移動方向や速度は04年11月から2009年5月の間に4回の変化があると見られる。この変化の原因は不明。ゆっくり地震?トリガーとなる地震は見当ついていない。

課題

- 短期でレートが変化する局の位置を表す場合の精度保証が課題
- 局位置の短期変動の原因の究明が課題(根拠を探る方法の検討:地震、海 洋、海底測地、解析モデルエラー)
- 国際観測への参加:IVS-T2の準備。